

平成18年3月期 / 第3四半期

決 算 説 明 資 料

株式会社 ソフトフロント

証券コード:2321

(大証ヘラクレス)

2006年2月16日



本日の説明内容

■平成18年3月期 第3四半期決算について

■平成18年3月期 業績見通しについて

当資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断等の記載、又はその他の既に確定した事実に基づくもの以外の記載は、将来の業績についての見通しに関するものです。これらの見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性がありますので、この業績予想に全面的に依存した投資等の判断は差し控え願います。



平成18年3月期 第3四半期決算について

資料中の数値は円単位の数値を百万円未満を切捨てし、また、パーセント表示は円単位の数値を基に算出した計算 結果の小数点第1位未満を四捨五入して表示しております。



平成18年3月期 第3四半期 :業績の概要

(単位:百万円)

	平成 1 7 年 3 月期 第 3 四半期	平成18年3月期 第3四半期	増減
売上高	298	332	33
営業損益	197	244	47
経常損益	218	251	33
当期純損益	263	252	11

増収要因:市場の拡大と販売戦略の効果で取引先が増加しており、売上は増加しておりますが、 大幅な増加までには到っておりません。

減益要因:人材獲得費用、ブランド構築費用、東京本社移転費用等の投資から前年に〈らべて 76M販管費が増加し、営業損失は47M増加しております。



「売上高」の状況

(単位:百万円)

		平成 1 7 年 3 月期 第 3 四半期	平成18年3月期 第3四半期	増減
売上	_高	298	332	33
	SW販売	144	137	6
	受託開発	154	194	40
	その他	-	0	0

■ SIPに関わる受託開発案件は予定どおりに受注できておりますが、SW販売は市場の拡大が当初見込んでおりましたよりも数ヶ月程度ずれ込んでおり、今四半期までのところでは前年同程度にとどまっております。



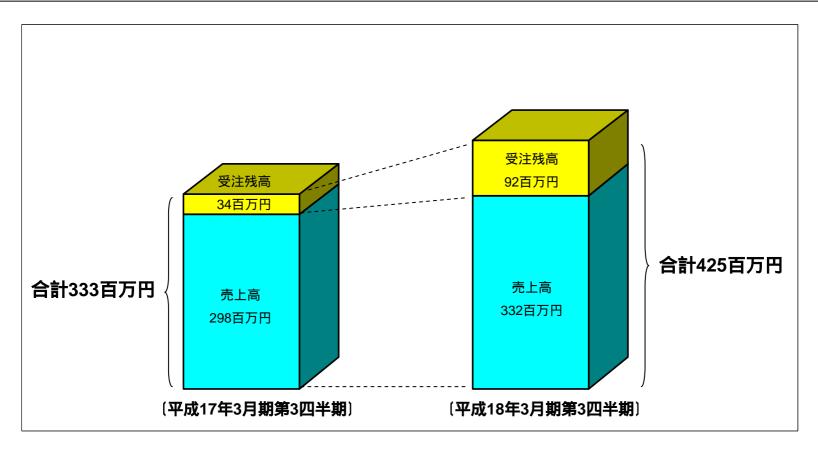
「受注高」の状況

	平成 1 7 年 3 月期 第 3 四半期	平成18年3月期 第3四半期	増減
受注高	306	407	100
受注残高	34	92	58

- 受注高は前年同期に比べ32.9%増加しております。
- 受注残高も前年同期と比べて増加しており、第3四半期末時に確定している 売上高が増加しております。



【参考】売上高と受注残高合計の前年比較



■ 売上高と受注残高を合わせた合計は前年同期に比べ27.6%の増加となっております。



「研究開発費・減価償却費」の状況

	平成 1 7 年 3 月期 第 3 四半期	平成18年3月期第3四半期	増減
研究開発費	118	119	0
減価償却費	63	64	1



平成18年3月期 第3四半期 : キャッシュ・フローの概要

<u> </u>
100
251
+ 64
+ 82
+ 12
0
7
87
+ 557
+ 370
1,127
187



平成18年3月期 業績見通しについて

資料中の数値は円単位の数値を百万円未満を切捨てし、また、パーセント表示は円単位の数値を基に算出した計算 結果の小数点第1位未満を四捨五入して表示しております。



平成18年3月期 業績見通し

平成17年5月13日に発表した通期業績見通しを以下のように修正いたします。

	平成18年3月期 第3四半期		
	前回発表	今回発表	差異
売上高	757	585	172
営業利益	84	224	140
経常利益	88	233	145
当期純利益	90	235	145



平成18年3月期 業績見通し

【業績予想の修正理由】

当社をとりまくSIP市場は、次世代ネットワークのベースとなるプロトコルにSIPが採用されることで、急速に拡大しつつありますが、当社が見込んでおりました市場拡大のスピードに対し、実際のスピードが数ヶ月ほど遅れております。このため、今期後半に見込んでおりましたライセンス収入が来期以降にずれ込む可能性が高くなっております。これらの状況に鑑み、前掲のとおり業績予想を下方修正いたします。

四半期毎の推移と見込

